

展望台の魅力アップ

富士山や丹沢山系を遠望できる展望台は、当公園の人気スポットです。毎朝、富士山の写真を撮影しに来られる利用者もいます。素晴らしい遠望なのですが、目の前の園地は、眼下にテニスコートも見えますが、その手前は低木の植栽と裸地、さらに人造石の腰壁となっています。この裸地には夏に向かってイネ科の植物が生い茂り、クズやヤブガラシなどのつる植物が植栽の上を覆ってしまいます。除去作業を行っても、見栄えが良い状態にはなりません。

そこで、裸地内を伐根してイネ科やつる植物の駆除を行いました。



作業場所は斜面地のため、スコップを使って土を掘り起こす作業から開始しました。長年にわたり繁茂していたイネ科のオギやカヤなどの根は、2cmくらいの太さに成長したものもあり、根の一部でも残すとそこから発芽するので、抜開作業は大変な作業でした。2日がかりの作業となりましたが、根はほとんど取り除くことができました。肥料と堆肥を土に混ぜ込み、種を植える準備を完了しました。

蒔いた種は、ヤグルマソウ、ポピー、オオテンニングサなど20種くらいの種がブレンドされたものです。11月中旬に蒔いた種は順調に発芽し、冬を越して春から花が咲くことを願っていました。しかし、予想外の冷え込みに何度か会い、大きな霜柱が立ったため、苗は掘り起こされて枯れてしまいました。



何度かの失敗を経て、種蒔き時期を早めたり、育つまでの間を立ち入り禁止にするロープ柵を設置するなどの改善を行って、今年はかなりボリュームのある花園が出来ました。その結果、展望台は、背面にある花壇とともに、花に囲まれた魅力的な場所になったと自画自賛しています。